

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	製造業者等と連携した循環産業形成支援事業		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～		担当課室	産業廃棄物課		産業廃棄物課長 廣木 雅史		
会計区分	一般会計		施策名	4-4 産業廃棄物対策(排出抑制・リサイクル・適正処理等)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	循環型社会形成推進基本法(平成12年6月2日法律第110号)第28条・・・『民間団体等の自発的な活動を促進するための措置』		関係する計画、通知等	循環型社会形成推進基本計画第5章『国の取組』第2節『国内における取組』4『循環型社会ビジネスの振興』				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	製造業者等と産廃処理業者の連携・協働を支援することで、より付加価値の高い循環利用を行う循環産業を育成するとともに、産業廃棄物の排出事業者が多数の産廃処理業者の中から優良業者を容易に選別して処理を委託しやすい仕組みを整備することにより、産業廃棄物処理業界の健全な発展につなげる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	製造業者、流通業者、産廃処理業者により構成されるフォーラムを開催し、これらの事業者間の連携・協働に向けたビジネス・マッチングを行うとともに、製造・流通側と処理側が連携・協働して行われた循環ビジネスの先進事例について情報発信を行う。また、廃棄物処理法に基づき認定を受けた優良産廃処理業者を排出事業者が容易に選択できるよう、優良産廃処理業者に関する情報発信を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	60	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	60	
	執行額	-	-	-	-	-		
執行率(%)	-	-	-	-	-			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	より質の高い循環産業、優良産廃業者の育成という産廃処理業界の質的な向上を目的とした事業であり、定量的な成果目標を設定することは困難。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	製造業者等と産廃処理業者の連携・協働を支援するフォーラムの開催、優良産廃処理業者への情報発信システムへの登録		活動実績		-	-	-	-
			(当初見込み)		(-)	(-)	(-)	(-)
単位当たり コスト	-		(円/)	算出根拠				
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度当初予算	主な増減理由				
	環境保全調査費	-	60	入替要求による新規要求				
	計	-	60					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<p>・世界的な資源制約を踏まえ、廃棄物等を貴重な資源としてとらえ、積極的に循環利用する循環産業の育成が必要となっている。</p> <p>・しかし、従来は、必ずしも質の高い循環利用が行われてきたとは言えない状況にある。</p> <p>・このため、国自らが率先して、製造業者等と産廃処理業者の連携・協働を支援し、先進事例を広く情報発信することが質の高い循環産業の育成につながる。</p>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	—
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—
	—		
予算監視・効率化チームの所見			
			—
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
			—
補記			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—